

2023

5

岡山県立倉敷工業高等学校 資格検定推進室

資格検定ニュース

2023年5月 | 第04号

基礎学力を身につける

日本語能力を磨く

基礎学力を身につけていくためには、日本語能力を磨くことが大切です。この表現に違和感を持つ皆さんには、「我が国、日本（にっぽん）で勉強をする上で、国語学習は基礎である。」と書いて良いかもしれません。

日本（にほん）国内で受検・受験する大多数のテストは日本語（すなわち国語）です。問題文である日本語を正しく判別できれば、正答になるチャンスは多いと思うのです。

例えば、次の2つの例。

・例1

「冷却曲線で液体から固体に遷移する温度をなんと呼ぶか。」

中学校理科で「凝固点」と「融点」は学びました、純金属であれば凝固点も融点も温度は同じなので、どちらでも良いのではと考えてしましがちですが、今回の問題例のキーワード「冷却曲線」にちゃんと気をつけていれば、高温から低温に変化させる過程での設問です。従って「凝固点」であり、「融点」ではありません。

・例2

次の（）内に入る、適切な語句を語群から選択しなさい。

常温で（①）したり、力を加えたり、また、加熱したり、（②）したりすることによって、所定の形状・寸法に成形できる。

【語群】接合、溶解

正答は①接合 ②溶解

溶解は高温で行うものであり、「常温で溶解」はありえない操作である。「常温で接合」であれば。リベットやボルト・ナットによる機械的接合などが考えられる。このように、日本語能力を磨くことは、正しい判断の基礎基本である。

